

3 月月例山行「四阿屋山」コースタイム等報告書

(1) 山行地 四阿屋山 (あずまやさん 772m) / 奥秩父山城

(2) 山行日 2017 年 3 月 5 日 (日) 晴れ

(3) 集合場所&集合時間 秩父鉄道三峰口駅改札出口 9 時 20 分

(4) 往路移動 (タクシー) 三峰口駅 9 : 30 = セツブンソウ自生地 9 : 50

(5) 節分草自生地園散策 (入園料 300 円) 9 : 50 ~ 10 : 20

(6) コースタイム報告 実働歩行時間 4 時間 56 分

セツブンソウ自生地 10 : 20 ⇒ 10 : 35 (大堤) つつじ新道登山口 (ストレッチ体操) 10 : 40 ⇒ 11 : 25 山居分岐 11 : 30 ⇒ (岩場&鎖場通過) ⇒ 12 : 33 四阿屋山 (772m) ⇒ 13 : 21 両神神社奥社 (昼食) 14 : 05 ⇒ (鳥居山コース下山) ⇒ 15 : 10 両神神社 15 : 12 ⇒ 15 : 16 両神温泉薬師の湯 (入浴&懇親会)

(7) 復路移動 (タクシー) 両神温泉薬師の湯 17 : 21 = 17 : 53 西武秩父駅 (解散)

(ミニ感想記)

私にとって 22 年ぶりの四阿屋山 (前はマイカー単独行) でした。初めて見る節分草に感激し写真をいっぱい撮りましたが、お花は太陽に向いていて撮るのが大変でした。

大堤からの登山道は結構急な登りで慎重にゆっくり歩く。三浦リーダーからの指令で、今日はなんとつつじ新道名物? の「岩場&鎖場」を直登することに急遽変更。45 分ほどで山居分岐に到着。看板があり。「山頂まで 50 分 **クサリ場・難所 (上級者コース)**」と明記。

先頭の私、1 本目のクサリはクリア。2 本目のクサリを見上げるとほぼ 90 度の岩場! 最初の数分で足場となるとつかかりが 1~2cm、又は無い。クサリにしがみついて、暫し休む。ここは度胸と覚悟を決めて、2~3 回クサリを両手で持って身体をリフトアップした。約 7~8m のこのクサリ場をクリアすると、平な岩場の上に出た。大きくため息をついた。達成感というより、やっと抜けたか、と思った。男子全員、女子 1 名が登った。

しかしこの後も痩せた岩尾根を注意してアップダウン。山頂までがとても長く感じた。山頂に 12 時 33 分登頂。山居分岐 (岩場の直下) から 1 時間 3 分が経過してた。

今回の四阿屋山は、つつじ新道の岩場クサリ場の直登が記念すべき思い出となった。おそらく北アルプスでもこんな難しい岩場は少ないだろうと感じました。

(3 月 6 日、加田 SL 記)